

「首都圏研修旅行報告②」

（Ⅱ）コース別研修「東京大学駒場キャンパス」

駒場キャンパスでは、中村元哉教授から「歴史」の講義（なぜラジオ体操をするのか・ニュースの時間の設定理由など）を受けた後、キャンパスツアーを行いました。駒場キャンパスは東大の1、2年生が通う場所なので、サークル勧誘の立て看板があちこちにあったり、催し物のピラをまいていたり、と昼休みは非常に活気あふれる様子でした。



「東京大学駒場キャンパス」参加生徒からの感想

- （講義を聞いて）身近にある疑問を歴史から解決、学んでいくことが大切であると学びました。そのためには自分たちの生活をよく考えて、よりよい社会に変えていく必要があります、そのために勉学が必要だと感じました。
- 教授は哲学が嫌いだと言っていて、なぜなのかが気になったが、話を聞いているうちに、それは最初から哲学を信じ、自分で考えることをしないで決めつけることが嫌いということだった。自分で考えることで思考力が上がるので、自分も心掛けたいと思った。
- キャンパスツアーではゼミの選び方や、大学1、2年時の上手な過ごし方について大学生から話を聞くことができました。
- 「まず椅子に十時間座ってみる」など、すべてにおいて挑戦してみることが大切だと講義や大学生の話から改めて感じました。